

宮内彩の New Zealand Style no.5 DNA

Kロードのセントケヴィンズアーケードを通り抜け、道を右に歩くとポツンと立っているDNAのブティック。「え、こんな所に？」と思うロケーションだ。こぢんまりとした店内の奥にデザインスタジオが広がり、ショッピングをしながら作業風景が覗ける。巨大なプリントテーブル、素材、ラックにかかった新しいコレクションのサンプル、ドリスがデザインする仕事机などが奥行き深い長い細い部屋に置かれている。ここがドリス・デ・ポントの仕事場であり、ショールーム兼、ショップなのだ。「今日はアシスタントも休みだし、病欠のスタッフも出て、私たった一人なのよ」と迎えてくれたドリス。細身な彼女は裾を折り返したジーンズに、フリンジの「チチ」というオーバーカースカー

トをはき、全身自分のコレクションでかためている。とても活動的で、さくさくとした雰囲気。奥まった場所だから、お店も兼ねているけれど、あまり邪魔されずに仕事に集中することができるのよ」と言う。実際に、私がインタビューと撮影の為に過ごした約3時間の間に、買い物客は一人も来なかった。

ドリス・デ・ポントの作品はアートと切っても切り離せない関係を持つ。毎シーズン、アーティストとのコラボレーションにより、作品が作り上げられる。「まずは私が感じている今の時代と雰囲気に合うアートを見つけることから始まります。そして、アーティストと話し合いながら、基本のプランを立てていくのです。そこからは、作品をどのように使用しても良いという、創作の自由の権限がゆだねられ、私は自由にコレクション作りに取り組むのです」

今シーズンはニュージーランド人アーティスト、ジョン・ブーレの「Let's Gather Here」という作品がテーマとして用いられた。「オークランドの多民族性、様々な文化の混ざり合いなどを表現したかったのです」というドリス。すぐ隣のセントケヴィンズアーケードで行われたショーは、ポリネシアの太鼓、中国の歌、

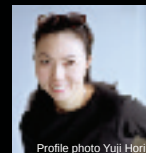
スコットランドのバグパイプなどをBGMに展開され、迫力のあるものだった。「Kロードというのは移民の登竜門だと思う」と彼女は語る。タバ素材を思わせる彩りのブーレの作品を様々な解釈して作られた今回のコレクション。全体的にポリネシア的な味わいの濃いプリントが、ヨーロッパ的な素材やアイテムに仕立てられている。ページュトーンのジャケットは作品をそのままプリントとして使っている。その一部だけ

シンプルなラインコートもトリミングがポイント。コート\$562
ブラウス\$144
タンクトップ\$88
パンツ\$288

ス自身、ファッションビジネスには20年以上携わり、70年代から80年代にかけてはオランダに移り住み、デザイナーとして活躍した。育児と共に仕事を中断したり、再開したり、「一番下の娘がちょうど1歳をすぎた頃、今のビジネスを立ち上げました。」その顧客の多くは、彼女のような、プロフェッショナルな女性。中でも、自分でビジネスを営んでいる女性に人気があると言う。「コーポレートな組織の中で働く人よりも、弁護士や医者のような職業の女性の顧客が多い」と彼女も言う。

ドリスの服は、一見してわかる。コレクションごとに作られるオリジナルプリントの作品は限定生産のため、コレクターも少なくない。「着るものは自己表現のツール」と言うのが彼女の信念。主張のあるデザインだけに、着る人にもそれなりの自信がないと、着こなす資格はないのだ。

プリントの作品は限定生産のため、コレクターも少なくない。「着るものは自己表現のツール」と言うのが彼女の信念。主張のあるデザインだけに、着る人にもそれなりの自信がないと、着こなす資格はないのだ。



宮内彩 東京生まれ。西町インターナショナルスクールを経て、スイス、ル・ロゼ高校、米タフツ大学卒業。帰国後、パリ・ミラノ等世界のコレクション取材。雑誌・新聞・テレビ・ラジオ等でファッション・コラムニストとして活動。オークランド在住の中村嗣氏と結婚のため、2000年より生活の拠点をNZに移動。01年、長男・寛人君、02年、次男・天人君誕生。子育ての合間を見て、旅・食・住等ライフスタイル全般のコラムニストとして英語及び日本語で執筆活動を行っている。著書は近代文藝社「おしゃれのエッセンス」おしゃれのエッセンス旅コレクション（母・大内順子と共著）等、NZでの生活のエッセイが載っているホームページはwww.ouchi-junko.com



CASUAL

DNAのジーンズは折り返しに個性がキラリ。ジーンズ\$236
Tシャツ\$243
ジャケット\$272



TOWN

シンプルなラインコートもトリミングがポイント。コート\$562
ブラウス\$144
タンクトップ\$88
パンツ\$288



WORK

ブーレのプリントジャケットは今シーズンの代表的なアイテム。ジャケット\$498
ブラウス\$256
スカート\$294



WEEKEND

フードを衿のように、ジャケットから覗かせた重ね着。フード付きトップ\$354
ジャケット\$393
スカート\$256



DINNER

プリントワンピースにプラスすることで、ドレスアップも自由自在。ワンピース\$348
ブラウス\$144
チチ(オーバーカースカート)\$146

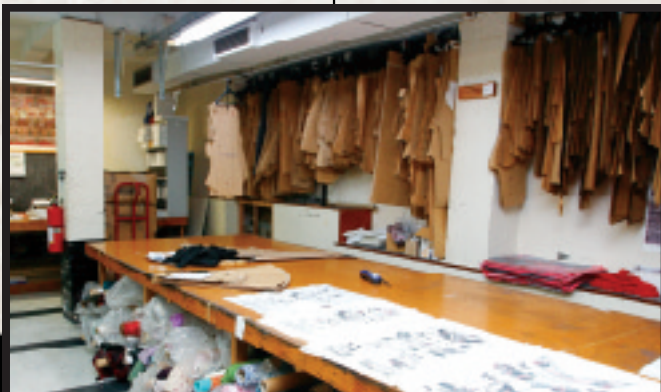


DINNER

黒の刺繍のワンピースはそのままでも、パンツと重ねても素敵。ドレス\$263
パンツ\$298



父親は靴職人、母親はテーラー。ドリス自身、ファッションビジネスには20年以上携わり、70年代から80年代にかけてはオランダに移り住み、デザイナーとして活躍した。育児と共に仕事を中断したり、再開したり、「一番下の娘がちょうど1歳をすぎた頃、今のビジネスを立ち上げました。」その顧客の多くは、彼女のような、プロフェッショナルな女性。中でも、自分でビジネスを営んでいる女性に人気があると言う。「コーポレートな組織の中で働く人よりも、弁護士や医者のような職業の女性の顧客が多い」と彼女も言う。



DNA RETAIL SHOWROOM 09-309-8268
38 Poynton Tce, Newton, Auckland